



CHAPTER 3

Cisco Unity Connection 8.x サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す

この章は、次の項で構成されています。

- 「[Connection 8.x から非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰について](#)」 (P.3-1)
- 「[Connection 8.x サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す](#)」 (P.3-3)
- 「[Connection 8.x クラスタ内のサーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す](#)」 (P.3-4)
- 「[Cisco Voicemail Organization 内の Connection 8.x メンバー サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す](#)」 (P.3-5)
- 「[Cisco Voicemail Organization 内の Connection 8.x サイト ゲートウェイ サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す](#)」 (P.3-6)

Connection 8.x から非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰について

アップグレード後も、非アクティブなパーティションのソフトウェア バージョンに切り替えることにより、アップグレード前に実行していたソフトウェア バージョンに戻すことができます。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻すと、その後は最新バージョンに切り替えることができなくなります。最新バージョンにするには、このガイドの指示に従って、アップグレードを再インストールする必要があります。

非アクティブなパーティションのバージョンに戻すことにより、データおよびメッセージに次のような影響があります。

- 新しいバージョンにアップグレードしてから追加されたユーザは、非アクティブなパーティションのバージョンに戻すと、存在なくなります。新しいユーザを再度追加する必要があります。
- メッセージはすべて保持されます。ただし、アップグレード後に追加されたユーザは存在しなくなるため、それらのユーザのメッセージは身元不明になります。身元不明メッセージは、配信不能メッセージフォルダに移動されます。
- アップグレード後に、メールボックスをあるメールボックス ストアから別のメールボックス ストアに移動していた場合、アップグレード前のメールボックス ストアに戻されます。
- アップグレード後にメールボックス ストアを作成すると、新しいメールボックス ストアは削除されます。

- **Connection 8.5** のみ：非アクティブなパーティションのバージョンは、単一受信トレイをサポートしません。次のことに注意してください。
 - Exchange のメールボックスと同期しているメッセージは、**Connection** および Exchange の両方に存在し続けますが、それぞれの関連付けはなくなります。メッセージは両方の場所から削除する必要があり、ステータスの変更（たとえば、未読から既読へ）、サブジェクト名への変更、および優先順位への変更はレプリケートされなくなります。**Exchange** におけるステータスの変更（たとえば未読から既読へ）は、メッセージ受信インジケータを変更しなくなります。
 - 非アクティブなパーティションで有効だったメッセージアクションは、引き続き有効になります。
 - **Connection 8.5** 以降に再度アップグレードする場合、両方に表示されるメッセージは、再び関連付けられます。**Exchange** からは削除されたが **Connection** には残っているメッセージは、**Exchange** メールボックスと再度同期します。
- 非アクティブなパーティションのバージョンがディスパッチ メッセージをサポートしていない場合（**Connection 7.0(1)** よりも前のすべてのバージョン）、新しいバージョンの **Connection** のディスパッチ メッセージは、旧バージョンの標準メッセージに変換されます。件名には「DISPATCH」の文字が残ります（ディスパッチ メッセージとは、コールハンドラまたはインタビューハンドラから同報リストに送られたメッセージで、グループ内の 1 ユーザのみが対応する必要があります。詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』（http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html）の「Messaging in Cisco Unity Connection 8.x」の章の「Dispatch Messages」を参照してください）。
- メッセージの回収が設定されていても、非アクティブなパーティションのバージョンがメッセージの回収に対応していない場合は（**Connection 8.x** よりも前のすべてのバージョン）、新バージョンの **Connection** の送信済みアイテム フォルダ内のメッセージは削除されます。
送信済みアイテム フォルダは、メッセージの回収が設定後に初めてメッセージが送信された際に作成されます。メッセージの回収をサポートするバージョンに戻しても、送信済みアイテム フォルダが作成されない場合、送信済みアイテム フォルダ内のメッセージは、配信不能メッセージ フォルダ内に移動されます。
- 音声入力が設定されている場合、**Connection 7.x** 以前に戻し、その後 **Connection 8.x** に再度アップグレードすると、復帰および再アップグレードの前に残した音声入力メッセージに関する追加のプロンプトが再生されます。
転写された個々のボイス メッセージには、メッセージのテキストを含むテキスト ファイルが添付されています。添付ファイルを含むほとんどのボイス メッセージについては、**Connection** が「添付ファイルあり」のプロンプトを再生し、メッセージに添付ファイルがあることを通知します。「添付ファイルあり」のプロンプトは、添付ファイルがボイス メッセージを転写したテキストである場合は必要ないため、**Connection** は、転写されたボイス メッセージに関するこのプロンプトを再生しません。ただし、添付ファイルの内容が転写かどうかを追跡するフィールドは **Connection 7.x** 以前に存在していなかったため、前のバージョンに戻すと、既存のメッセージに関する情報は失われます。**Connection 8.x** に再度アップグレードすると、**Connection** は、復帰前に存在していた、添付ファイルを含むすべてのボイス メッセージ（添付ファイルが転写のものも含む）に対して「添付ファイルあり」のプロンプトを再生します。再アップグレード後に転写された新しいメッセージには、この問題は発生しません。
- 非アクティブなパーティションのバージョンが下書きメッセージに対応していない場合（**Connection 8.x** よりも前のすべてのバージョン）、新バージョンの **Connection** の下書きメッセージは削除されます。

下書きフォルダは、この機能の設定後に下書きメッセージが初めて保存される際に作成されます（ユーザが回線を切断するか、またはアプリケーションを終了した場合に、**Connection** が自動的に下書きメッセージを保存するようにするか、または **Connection** がユーザに下書きメッセージの保

存を許可するように設定する必要があります)。下書きメッセージをサポートするバージョンに戻しても、下書きフォルダが作成されない場合、下書きフォルダ内のメッセージは、配信不能メッセージフォルダ内に移動されます。

- Connection 2.x に戻す場合、メッセージの将来的な配信をサポートしていないため、将来の配信のためにキューに入っているメッセージは、ハードディスクから削除されませんが、配信もされず、送信者がアクセスすることもできません。

配信予定フォルダは、ユーザがメッセージに将来配信する予定であることをマーク付けした際に、初めて作成されます。将来的な配信をサポートするバージョンに戻しても配信予定フォルダが作成されない場合、新しいバージョンで配信予定フォルダに入るはずのメッセージは、配信不能メッセージフォルダ内に移動されます。

Connection 8.x サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す

この項の手順は、クラスタ内にないサーバで、Connection サイトのメンバーサーバではなく、Connection サイト間、または Connection サイトと Cisco Unity サイト間のゲートウェイサーバではないサーバのみに使用できます。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻す作業は、必要な場合を除き、通常の業務時間内には行わないでください。バージョンに戻すと Connection サーバが再起動し、再起動が完了するまでの約 15 分間、Connection は動作しません。

Connection 8.x サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻すには

- ステップ 1** Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
- ステップ 2** [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。
[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [バージョンの切り替え (Switch Versions)] ボタンを選択します。
システムの再起動について確認すると、システムが再起動されます。処理が完了するまでに、最大で 15 分かかります。
- ステップ 4** バージョンの切り替えが正常に完了したことを確認します。
 - a. Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
 - b. [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
 - c. アクティブなパーティションで、適切な製品バージョンが実行されていることを確認します。
 - d. アクティブにしたサービスがすべて動作していることを確認します。
 - e. Cisco Unity Connection Administration にログインします。
 - f. 設定データが存在することを確認します。

Connection 8.x クラスタ内のサーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す

Connection クラスタ内のサーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻すには、次の3つの手順を実行します。

この項の手順は、Connection サイトのメンバー サーバではなく、Connection サイト間、または Connection サイトと Cisco Unity サイト間のゲートウェイ サーバではないサーバのみに使用できます。



注意

クラスタを正常に機能させるには、両方のサーバを復帰させ、データベース レプリケーションをリセットする必要があります。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻す作業は、必要な場合を除き、通常の業務時間内には行わないでください。バージョンに戻すと Connection サーバが再起動し、再起動が完了するまでの約 15 分間、Connection は動作しません。また、パブリッシャ サーバを戻している間にサブスクリバ サーバに残されたボイス メッセージは消去されます。

Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻すには

- ステップ 1** Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
- ステップ 2** [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。
[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [バージョンの切り替え (Switch Versions)] ボタンを選択します。
システムの再起動について確認すると、システムが再起動されます。処理が完了するまでに、最大で 15 分かかります。
- ステップ 4** バージョンの切り替えが正常に完了したことを確認します。
 - a. Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
 - b. [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
 - c. アクティブなパーティションで、適切な製品バージョンが実行されていることを確認します。
 - d. アクティブにしたサービスがすべて動作していることを確認します。
 - e. Cisco Unity Connection Administration にログインします。
 - f. 設定データが存在することを確認します。

Connection 8.x クラスタ内のサブスクリバ サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻すには

- ステップ 1** Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
- ステップ 2** [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 3** [バージョンの切り替え (Switch Versions)] ボタンを選択します。
- システムの再起動について確認すると、システムが再起動されます。処理が完了するまでに、最大で 15 分かかります。
- ステップ 4** バージョンの切り替えが正常に完了したことを確認します。
- サブスクライバ サーバで、Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
 - [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
 - アクティブなパーティションで、適切なバージョンが実行されていることを確認します。
 - アクティブにしたサービスがすべて動作していることを確認します。

サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻した後で、Connection 8.x クラスターのデータベース レプリケーションをリセットするには

パブリッシャ サーバで、`utils dbreplication reset all` CLI コマンドを実行します。

Cisco Voicemail Organization 内の Connection 8.x メンバー サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す

サイト間リンクが Cisco Unity Connection サイトと Cisco Unity サイト間または 2 つの Connection サイト間に設定されている場合は、サイト内の Connection メンバー サーバまたはクラスタを非アクティブなパーティションのバージョンの Connection に戻すために、次のタスクを実行します。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻す作業は、必要な場合を除き、通常の業務時間内には行わないでください。バージョンを戻すと Connection サーバが再起動し、再起動が完了するまでの約 15 分間、Connection は動作しません。

- このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードする前に Connection サイトに追加した場合、タスク 2. に進んでください。メンバー サーバのバージョンを戻す前に、このメンバー サーバを削除する必要はありません。

このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードしてから Connection サイトに追加した場合は、サイトからこのメンバー サーバを削除してください。クラスタが構成されている場合は、このタスクをパブリッシャ サーバ上で実行します。詳細については、

『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html) の「Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 8.x」の章の「Removing a Location From a Cisco Unity Connection Site」を参照してください。

- クラスタが構成されていない場合は、サーバのバージョンを戻します。「[Connection 8.x サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す \(P.3-3\)](#)」を参照してください。

クラスタが構成されている場合は、両方のサーバのバージョンを戻して、データベース レプリケーションをリセットします。「[Connection 8.x クラスタ内のサーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す](#)」(P.3-4) を参照してください。

3. タスク 1. で Connection サイトからサーバを削除した場合で、戻したバージョンがネットワークをサポートし、そのサーバを Cisco Voicemail Organization に追加したい場合は、ネットワークを再度セットアップしてください。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html) の「[Setting Up Networking Between Cisco Unity Connection 8.x Servers](#)」の章を参照してください。

Cisco Voicemail Organization 内の Connection 8.x サイト ゲートウェイ サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す

サイト間リンクが Cisco Unity Connection サイトと Cisco Unity サイト間または 2 つの Connection サイト間に設定されている場合は、Connection サイト ゲートウェイ サーバまたはクラスタを非アクティブなパーティションのバージョンの Connection に戻すために、次のタスクを実行します。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻す作業は、必要な場合を除き、通常の業務時間内には行わないでください。バージョンを戻すと Connection サーバが再起動し、再起動が完了するまでの約 15 分間、Connection は動作しません。

1. このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードする前にサイト間リンクを設定した場合、タスク 4. に進んでください。バージョンを戻す前に、ゲートウェイ サーバを Connection サイトから削除する必要はありません。

このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードしてからサイト間リンクを設定した場合で、Connection サイトのゲートウェイが他の Connection サイトにリンクしている場合は、2 つの Connection サイトの間のサイト間リンクを削除します。クラスタが構成されている場合は、このタスクをパブリッシャ サーバ上で実行します。詳細については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html) の「[Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Removing an Intersite Link Between Two Cisco Unity Connection Sites](#)」を参照してください。

このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードしてからサイト間リンクを設定した場合で、Connection サイトのゲートウェイが Cisco Unity サイトにリンクしている場合は、Connection サイトと Cisco Unity サイトの間のサイト間リンクを削除します。クラスタが構成されている場合は、このタスクをパブリッシャ サーバ上で実行します。詳細については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html) の「[Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Removing an Intersite Link Between a Cisco Unity Connection Site and a Cisco Unity Site](#)」を参照してください。

2. タスク 1. でサイト間リンクを削除した場合は、Connection Administration の [ツール (Tools)] > [タスク管理 (Task Management)] ページで、[削除済みリモート サイトに関連付けられているオブジェクトの削除 (Remove Objects Associated With Deleted Remote Sites)] タスクが数分以内に実行されるようにスケジュールを変更します (デフォルトでは、このタスクは毎日午後 10 時に実行されます)。

3. タスク 1. でサイト間リンクを削除した場合は、2 箇所の進行状況を確認します。
 - [削除済みリモート サイトに関連付けられているオブジェクトの削除 (Remove Objects Associated With Deleted Remote Sites)] タスクの [タスク定義の基本設定 (Task Definition Basics)] ページ。エラーが発生した場合、ここに表示されます。
 - [サイト間リンク (Intersite Links)] ページ (Connection Administration の [ネットワーク (Networking)] > [リンク (Links)] > [サイト間リンク (Intersite Links)])。このタスクが完了すると、このページからリンクが消去され、サーバはブリッジヘッドサーバではなくなります。

**注意**

タスクが完了するまでは、サーバの復帰を継続しないでください。

4. このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードする前に Connection サイトに追加した場合、タスク 5. に進んでください。メンバー サーバのバージョンを戻す前に、このメンバー サーバを削除する必要はありません。

このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードしてから Connection サイトに追加した場合は、サイトからこのメンバー サーバを削除してください。クラスタが構成されている場合は、このタスクをパブリッシャ サーバ上で実行します。詳細については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html) の「[Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Removing a Location From a Cisco Unity Connection Site](#)」を参照してください。
5. クラスタが構成されていない場合は、サーバのバージョンを戻します。「[Connection 8.x サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す](#)」(P.3-3) を参照してください。

クラスタが構成されている場合は、両方のサーバのバージョンを戻して、データベース レプリケーションをリセットします。「[Connection 8.x クラスタ内のサーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻す](#)」(P.3-4) を参照してください。
6. タスク 1. でサイト間リンクを削除した場合、またはタスク 4. で Connection サイトからサーバを削除した場合で、戻したバージョンがネットワークをサポートし、そのサーバを Cisco Voicemail Organization に追加したい場合は、ネットワークを再度セットアップしてください。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html) の該当する章を参照してください。

